



東海道関宿街道まつり（亀山市）

毎年11月初旬に国の重要伝統的建造物群保存地区や、日本の道百選に選ばれた町並みの中で行われるこのイベントは、ユニークな仮装行列などたくさんの催しが行われ、往時の賑わいが再現されます。

写真提供：株式会社アイブレーション

目次・主な内容

■ Top News 理事・役員会・特別講演会	2	■ 会員発HOTニュース	16
■ 特別インタビュー	4	■ 三重労働局News	17
■ 三重経協海外経済・労働事情視察	5	■ 三重県労働委員会News	18
■ 協会事業活動報告	6	■ 委託事業News	19
■ リレー随想	14	■ 事務局News	22
■ 教育機関News	15	■ 業務日誌	24

理事・役員会

9月24日（月）津都ホテル5階「伊勢西の間」において、理事・役員会を開催いたしました。当日は、33名の参加者がありました。



挨拶する岡本会長

1. 会長挨拶要旨

東日本大震災から1年半が過ぎ、我が国経済は昨年秋以降、その復興需要を背景に、緩やかに回復してまいりました。日本経済を取り巻く環境は6重苦に加え、デフレ社会、少子高齢化、雇用機会の不足、財政問題、更には欧州債務危機を中心とした世界的な金融不安による世界経済の減速等々、予断を許さない状況となっております。

県内経済は、製造業を中心に業況感も改善しており、主力業種の生産指数も上昇しておりますが、一方、雇用情勢につきましては、有効求人倍率等に改善の兆しが見られるものの、まだまだ低水準での推移で、若年者、中高年齢者、女性、更にはハンディーを背負った方々等、新たな雇用の創出が喫緊の課題とされ、そのベストミックスを図りながら、全員参加型の社会を作りあげていくことが一番大切ではないかと思えます。そして社会全体で働きやすい仕組みを整えることが重要だと認識しております。

特に女性の能力の活用については、日本の女性の社会進出は非常に遅れているという事です。今後は当協会と致しましても、女性従業員が活躍しやすい職場環境作りを企業の経営戦略の一つとして位置付

け、遅ればせながら当協会でも、大幅な改正男女雇用機会均等法が施行されて10年が経過した平成22年に「女性懇話会」を立ち上げ、女性パワーの多彩な活動促進等、これらの問題に積極的に取り組んでおります。是非とも皆様方の会社の女性幹部、また女性幹部候補の方々のご参加をお願い致したいと思います。

2. 協議事項

- (1)平成24年度事業進捗状況
- (2)平成24年度予算執行状況
- (3)役員人事の件

監事交替の件

（新）今村会計事務所 所長 今村 元宣 氏

（旧）株式会社クレハエラストマー 代表取締役社長 泉川 治 氏
上記3件の協議事項については、満場一致で承認を得ました。

3. 労使共同宣言

（ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けた労働時間管理の適正化と不払残業の根絶宣言（案））

4. 活動報告

- (1)第18・19期労務管理改善協力委員会
- (2)女性懇話会
- (3)第48回三重労使会議報告
- (4)大学生等インターンシップ受入企業開拓事業報告
- (5)三重労使雇用支援機構事業
（中高年齢者雇用支援事業、若手人材育成・定着支援事業、若年者キャリアサポート推進事業、企業の働き方改革に向けたモデル事例検討業務）
- (6)中小企業相談支援事業
- (7)希望者全員65歳雇用確保達成事業
- (8)高度外国人材（留学生）の日本企業就職促進プロジェクト
- (9)その他・連絡事項

以上の活動報告が事務局より報告されました。

理事・役員会終了後、特別講演会が開催されました。

特別講演会

『近大高専存続移転を巡っての学校経営』 地域貢献の学校づくりを目指して

近畿大学工業高等専門学校
校長（近畿大学教授）

神 野 稔 氏



講演する神野校長

本日は学校の問題、学校経営の問題についてお話しさせていただきます。

本校は私学なので学生が集まらなくなれば廃校とな

ります。地方、それも過疎地にある熊野での学校を任されてきた話をします。学校で1番大事なのは人です。人がダメになってくると学校は腐ってしまいま

す。いい人を入れて活力を与えていくということが大事だと思います。それと高専の生き残りを賭けた改革について話をさせていただきます。

高専は、昭和36年に産業界の要請により制度制定された学校で、産業界から高い評価を得ていますが、現在の高専経営は効率化と高度化を両立させなくては成り立たないところに来ています。

本校は、昭和37年に世耕弘一近畿大学初代理事長・総長が熊野に開校。平成2年度をピークに学生数が激減し、平成9年度には総定員の過半数割れとなり、平成12年までの状況は累積債務が大幅に増加している状況でした。平成11年には廃校が検討されましたが、平成12年4月、理事長から私自身が特命を受け、学校再構築にあたり、人事刷新、賃金抑制、資格能力給導入、資格任期制度制定、施設改修・新設、奨学金制度の拡充など、さまざまな改革を実行しました。

こうした改革の結果、博士号取得者が教員の過半数を超え、第一線にいた企業出身者の大量採用と相まって、高度技術者育成の体制を整え、学生の課外活動も活発化し、多くの成果をあげることができるようになりました。進路についても、現役での国立大（卒業生の12% - 平成24年3月卒業生）、私立大への編入学、官公庁や有名企業等への就職が毎年100%確定し、機関別認証評価においては、「就職率、進学率が極めて高く、教育の成果や効果が十分に上がっている」と評価され、日本技術者認定機構の審査において「学習教育プログラムが日本技術者認定基準に適合している」と認定されました。それらの成果として、学生数が増加し、定員充足に至りました。

ところが、その反動として、地元の県立高校統廃合問題の軋轢を受け、平成17年度以降、県教委による本校への定員調整（地元中学校卒業生の20%→10%）、地元中学校の進路調整を受け、地元入学生の激減（100名程度→50名程度）に至り、平成12年度入学生数と同水準に逆戻りしました。

以降、熊野での高専存続を求め、市長、町長、県知事との会談、要望・提案などしてきましたが十分な対応がなく、平成20年6月には法人本部長より「地元の協力が得られないなら廃校が望ましい」と申し渡されました。同年12月、理事長より「姫路市から高専誘致」の話があり、移転による生き残りを示唆されました。翌平成21年1月、三重県知事より「皇學館大学撤退跡に移転すれば、皇學館・高専・三重県・名張市全てが円満に行くのでは」と県内・名張市移転存続の情報提供を受け、移転に向けての検討が始まりましたが、熊野市から支援策が示されなかったこともあり、同年6月、熊野市長宛に「熊野市からの撤退」を表明するに至りました。

名張市への移転については、学校法人から移転費用の抑制を言明され、実験室・教室の問題、寮の確保などの難題が多々ありましたが、名張市からは、皇學館大学跡敷地や建物の無償譲渡、隣接私有地の無償貸

与、備品・蔵書などの無償譲渡、国縣市からの3億円に及ぶ補助金などを得、高専移転決定となりました。

本校が地域にもたらす経済効果についても大きな影響力があり、学生寮は遊休施設の会社研修センターや社員寮、ワンルームマンション等、民間賃貸物件の一括借り入れであり、学生の入居により空室状態が解消されたほか、学生・教職員・関係者の消費など、平成23年度の名張市への直接効果だけで13億円に及び、近大高専が地域にもたらす貢献度は計り知れないものがあります。

公開講座・地域連携は熊野の時代から続いており、特に資格を取るためのいろいろな講習、地域の研究を中心とした地域連携などです。私立といえども公教育機関。地域に開けるという基本姿勢を崩してはなりません。地元企業との包括的提携協定、インターンシップなど企業と高専の相互交流、名張に移転してからは名張市民産学官連携協議会の結成と共同研究の推進をしています。また市民との相互交流として、地域から要望のある祭りなどへロボコン、エコランカー、ソーラーカーなどの展示や神輿担ぎなどの協力参加、名張市の各種委員会に参画するなどのほか、逆に地域から高専名張祭への出演参加をいただいています。年10回程度の土曜・金曜公開講座には、毎回200～300名の参加をいただいております。

今後、本校の競争力強化にむけ、野球の甲子園出場などスポーツの活性化、特別進学クラスを設置し、さらに文武両道を推し進めて行こうとしています。高専の設置は国立が圧倒的なため、広報宣伝に欠けているところを変えていかなくてはなりません。地味なところが高専の売りだと言っても、受験してくれる中学生が魅力を感じてくれなくては不十分と言えます。大学受験がない高大一貫教育の高専こそ知徳体三位一体の全人的教育ができると言え、国民目線での制度維持を試み、創設時からの弱点を克服しながら、高専単体での競争力を強化していく必要があります。

私立の学校、本校の移転・存続・改革の問題について話をさせていただきました。私の主張はこうということです。今後とも宜しくお願い致します。



特別講演会風景

★ 特別 interview ★



今回は「特別インタビュー」ということで、当協会会長会社の三重交通グループで本年6月に初めて女性で取締役になりました鳥羽シーサイドホテル株式会社 取締役女将 田中 花恩里さんにお話を伺うことができました。

「お客様に感謝」「従業員に感謝」 「家族に感謝」「業者さんに感謝」を忘れずに

鳥羽シーサイドホテル株式会社
取締役女将 田中 ^{か お り} 花恩里さん

取締役女将になられた経緯をお聞かせ下さい。

中途採用の私が女将にさせていただいたことにも驚きました。また、私に務まるかどうか大変不安でしたが、今まで以上に業務に対し邁進していく所存です。

仕事に対する心掛けやご苦勞、失敗談があればお聞かせ下さい。

常にお客様目線でお仕事をさせていただくことを心がけております。私も旅行が好きで色々な旅館・ホテルに泊まらせていただきます。旅行の目的や相手で宿泊施設を選択しますが、その場合プライベート旅行であっても、そのホテルを仕事目線で見ている自分が滑稽に思え笑ってしまう時があります。

お客様も色々な目的でご来館されご宿泊されておりますので、その個々のお客様のニーズにあった接客・おもてなしをし、ご満足いただけるよう従業員一同日々お仕事をさせていただいております。そして初心を忘れない様心がけております。

女性の活性化・活用について何が大切か、何が必要かをお聞かせ下さい。

昨今、お客様のニーズ・ウォンツが多種多様になり色々な目線で物事を見渡さなくてはならなくなりました。その中で企業も同じです。企業は女性の能力を活かし、その視点、考え方を取り入れることを求められていると思います。そのためにも、日頃から自分自身を磨き、高い感性を持ち、観察力を育てていかなければなりません。女性にしかわからないことや気がつかないことを率先して実行し、臆せず、積極的にやりがいを持って仕事と面と向かえる職場であって欲しいと願います。

女将としてのこれからのご自身の目標についてお聞かせ下さい。

岡本社長がいつも言うておられます「安全・安心・安定そして快適なサービス」を目標に頑張ります。

最後に、オフの過ごし方、趣味などお聞かせ下さい。

オフの日は家に帰り主人・娘・犬・猫とのんびり過ごしています。家族で食事をしたりショッピングに行ったり……。このあいだは家族3人で日帰りで東京まで行ってきました。(笑)

あと体を動かすことが好きなので、昔はテニスやゴルフ、スキーとアクティブにスポーツをしていました。今は旅行や映画鑑賞、音楽鑑賞と少しずつ趣味も変わってきました。



◆ 田中 花恩里女将略歴

昭和30年11月25日生

出身地 三重県志摩市志摩町
現住所 三重県志摩市阿児町

- 2005年5月 鳥羽シーサイドホテル(株)入社 接客サービス課長
- 2006年1月 接客料飲部長 (女将)
- 2012年6月 取締役接客料飲サービス部長 (女将) (現職)

第11回 三重経協海外経済・労働事情視察

タイ王国・シンガポール共和国の経済・労働事情視察

2012年月9月30日(金)～10月5日(金)・5泊6日

第11回三重経協海外経済・労働事情視察団（团长：岡本直之三重経協会会長）一行24名は、9月30日から10月5日までの6日間、昨年の大洪水から立ち直りつつあり、4,000社以上の日本企業が進出している「タイ王国」と、官民一体となり経済開発を推進し急速に高度成長をとげ、今やロンドン、ニューヨーク、香港に次ぐ、世界第4位の世界金融センターとして評価されている「シンガポール共和国」の2カ国を訪問しました。

今回の研修目的は、当地の労働・経済・社会情勢並びに雇用対策等について視察を行い、特に、タイ王国は昨年の大洪水により400社以上の日系企業が被災し、壊滅的な打撃を受けながらも、年末までにはほぼ通常の生産体制に戻るといわれているアユタヤ地区のロジャナ工業団地を訪問し、その復旧状況等も合わせ視察してまいりました。

出発当日の日本は東海地方に台風上陸か!という

悪天候の中、津エアポートラインから中部国際空港行きを前日にキャンセルし、バスで中部国際空港に向かいながらも出国できるのか!出来ないのか!。ハラハラドキドキしながらも空港に着くと無事早目の出国OK!。一同ホッとしたものの、家族を日本に残し、不安の中、日本を後にしました。

しかし、タイに着けばハードスケジュールではあったものの充実した5泊6日（機中1泊）で2カ国を視察し、百五銀行のバンコク駐在員事務所開設準備委員長の立花信之氏から「タイの洪水被害復旧状況並びにタイ情勢」、同じく百五銀行シンガポール駐在員事務所所長の永田清氏から「シンガポールの経済、労働環境」等、詳細な説明が聴講できたことが非常に参考になり見識を深めることができました。

なお、詳細につきましては別冊「第11回三重経協海外経済・労働事情視察報告書」（平成25年1月発行）をご覧くださいませようお願いいたします。



百五銀行バンコク駐在員事務所訪問
(12月開所予定)



エメラルド寺院にて



立花 信之 氏 講演風景

第11回三重経協海外・労働事情視察行程表

日時	期 日	発着地/滞在地	現地時間	ス ケ ジ ュ ー ル
1	9月30日(日)	中部国際空港発 バンコク	午前 午後	中部国際空港集合 出国手続き後、タイ航空にてバンコクへ 百五銀行バンコク駐在員事務所訪問
2	10月1日(月)	バンコク	終日	バンコク市内視察 ロジャナ工業団地水害地区視察
3	10月2日(火)	バンコク シンガポール	午前	専用車でバンコク空港へ 出国手続き後、空路シンガポールへ
4	10月3日(水)	シンガポール	午前 午後	シンガポール市内視察 「労働・経済講演会」 百五銀行バンコク駐在員事務所開設準備委員長 立花 信之 氏「タイの洪水被害復旧状況並びにタイ情勢など」 百五銀行シンガポール駐在員事務所 所長 永田 清 氏「シンガポールの経済、労働環境など」
5	10月4日(木)	シンガポール	午前 午後	シンガポール市内視察 セントーサ島視察 出国手続き後、タイ航空にてバンコクへ
6	10月5日(金)	バンコク 中部国際空港	午前	出国手続き後、タイ航空にて中部国際空港へ 入国審査、税関検査を済ませ空港にて解散

三重経協活動報告

第19期「第1回労管定例総会」開催

8月28日（火）プラザ洞津において、第19期「第1回労務管理改善協力委員会定例総会」を開催致しました。

最初に、第18期労管会長の田坂会長より開会の挨拶後、第18期の活動報告、2部会の活動報告が行われました。続いて第19期発足に伴う新役員の選出と新部会所属の決定が原案通り可決承認されました。その後、各部会に分かれて部員の自己紹介、正副部会長の選出、今後2年間の部会活動についての取り組みが協議され、再度定例会議を開催し、各部会の報告が行われました。最後に横井新会長より就任挨拶を頂き、横井新会長より田坂旧会長に退任の記念品が贈呈され、田坂旧会長より退任の挨拶をいただきました。

その後、各新部会長より部会ローテーション及び次回の報告が行われ、最後に事務局より報告があり総会が終了致しました。



定例会議風景



新役員の前で挨拶する横井新会長

第19期労務管理改善協力委員会の概要

1. スローガン

「人事労務管理職・担当者のネットワークづくり」
※第19期より各期事の総合テーマから統一スローガンに変更されました。



田坂旧会長へ記念品を贈呈する横井新会長

2. 第19期新役員

- 会 長（新） 横 井 智 成 氏
（中部電力(株)三重支店人事課長）
副 会 長（新） 大 内 敬 弘 氏
（近畿日本鉄道(株)名古屋輸送統括部運輸部運輸課長）
副 会 長・北勢地区支部長（新）
川 瀬 雅 生 氏
（住友電装(株)人事部労政グループ長）
〳 ・中勢地区支部長（再）
奥 田 浩 司 氏
（(株)松阪鉄工所総務部長）
〳 ・南勢地区支部長（再）
井 上 穂 石 氏
（鳥羽シーサイドホテル(株)管理部長）
〳 ・伊賀地区支部長（再）
山 本 正 仁 氏
（(株)安永人事部人事グループ長）

3. 構成内容

■定例会議

- ①労管主催による、地域懇談会の実施。又、三重労使会議（連合三重との共催）への参加
- ②人脈作りの一環として、簡単な立食懇親パーティーを開催し情報交換の場とする

■第1部会

テーマ：「今後の人材育成の課題」

- ①若手人材育成について
- ②中間管理職の再教育と役職者の役割と部下の指導育成について（コア人材）
- ③グローバル経営の人材育成について

構成メンバー：39名（次ページ参照）

常任幹事：部会長 佐々木 哲也氏
 （上野キヤノンマテリアル(株)総務部長）
 副部会長 坂野 和哉氏
 （三重いすゞ自動車(株)常務取締役総務部長）
 副部会長 今井 秀樹氏
 （株中勢ゴム総務室次長）



挨拶する佐々木新第1部会長



挨拶する古市新第2部会長

■第2部会

テーマ：「人事労務管理のポイント」

- ①改正労働者派遣法に伴う対策について
- ②改正労働契約法に伴う対策について
- ③高齢法改正に伴う今後の高齢者雇用について
- ④退職・解雇・内定取消の実務上の注意点について
- ⑤各種助成金の活用について
- ⑥労働組合対策について
- ⑦パート労働者の今後の対応と対策について（短時間労働者への社会保険適用）

構成メンバー：47名（次ページ参照）

常任幹事：部会長 古市 正典氏
 （株三交ドライビングスクール常務取締役）
 副部会長 水野 恵介氏
 （三重グリコ(株)総務課課長）
 副部会長 渡辺 均氏
 （シンフォニアテクノロジー(株)伊勢製作所
 総務部担当課長）

■共通部会

第18期に続き共通部会を設置することとなりました。

- ①人事労務管理職・担当者のネットワークづくり
- ②各社が現在抱えている課題についての討論会
- ③大学・高校等との産学連携（高校・高専・短大・大学の就職担当者との交流会・研修会）
- ④県外視察会（優良企業への訪問）

※第19期より、労管委員以外の方も一部の部会については参加できるようになりました。

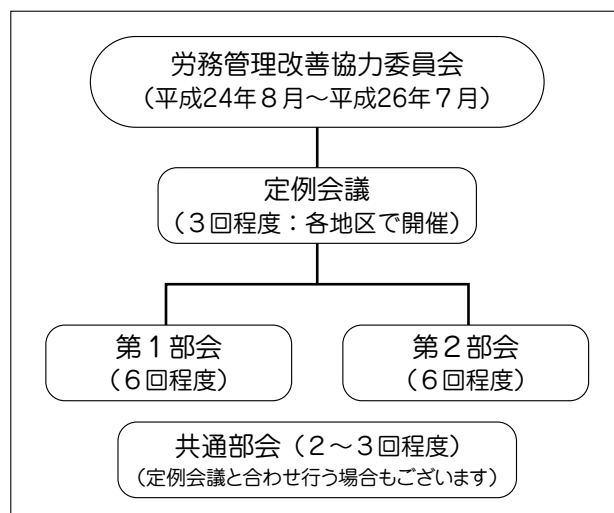
（別途参加費が必要）

※以前活発に行っておりました各部会でのディスカッション・情報交換会を復活致します。

※第19期労務管理改善協力委員会は、60社、91名でスタートします。

なお、新たに委員会活動に参加されたい方は、年度途中でも参加できますので、事務局、中村までご連絡下さい。

最後に、第18期の労管役員の皆様大変ありがとうございました。新役員の皆様を支えて頂き今後より一層のご活躍をお祈り致します。



労務管理改善協力委員会 第1部会

No.	類	会 社 名	役 職 名	氏 名	No.	類	会 社 名	役 職 名	氏 名
1	○	(株)R & Eコンサルタント	代 表 取 締 役	小 林 吉 光	21	○	大 東 自 動 車 (株)	代 表 取 締 役	加 藤 光 一
2	○	(株)アイブレーション	管 理 課 課 長	藤 田 哲 生	22	○	(株)中 勢 ゴ ム	総 務 室 次 長	今 井 秀 樹
3		(株)赤 福	人 事 ・ 厚 生 課 係 長	上 田 幸 輝	23	○	中部電力(株)三重支店	人 事 課 長	横 井 智 成
4	○	石原産業(株)四日市工場	総 務 部 労務グループマネージャー	西 山 良 夫	24	○	社会福祉法人名張育成会	総 務 部 長	宮 田 義 則
5	○	井村屋グループ(株)	人 事 ・ 労 務 部 長	岩 上 真 人	25	○	日本キャボット・ マイクロエレクトロニクス(株)	人 事 マネージャー	荒 金 聡 美
6	○	上野キャノンマテリアル(株)	総 務 部 長	佐々木 哲 也	26	○	日本トランスシティ(株)	人 事 部 参 事	松 永 光 生
7	○	(株)おやつカンパニー	経 営 管 理 部 部 長	口 野 和 也	27		パイロットインキ(株)	人 事 総 務 部 長 代 理	新 野 武 司
8	○	(株)ぎゅーとら	人 事 マネージャー	藤 原 徹	28		〃	津 工 場 長 代 理	渡 辺 明 彦
9	○	近畿大学工業高等専門学校	事 務 長	植 田 昌 伸	29	○	(株)パ ソ ビ ア	人 材 事 業 部 部 長	澤 田 昌 士
10	○	近畿日本鉄道(株) 名古屋輸送統括部	運 輸 部 運 輸 課 長	大 内 敬 弘	30	○	八 風 バ ス (株)	取 締 役 総 務 部 長	大 井 秀 寿
11	○	(株)近鉄ホテルシステムズ	運 営 管 理 部 部 長	大 町 佳 史	31		本田技研工業(株)鈴鹿製作所	人 事 研 修 グループリーダー	永 井 克 英
12		〃	運 営 管 理 部 総 務 リーダー	川 村 幸 敏	32	○	三重いすゞ自動車(株)	常 務 取 締 役 総 務 部 長	坂 野 和 哉
13	○	現代経営技術研究所	シニアコンサルタント	藤 井 隼 夫	33		三 重 交 通 (株)	人 事 課 長	中 林 広 己
14	○	御在所ロープウェイ(株)	専 務 取 締 役	山 本 篤	34	○	三 重 信 用 金 庫	人 事 部 長	阪 治 久
15	○	(株)小林機械製作所	専 務 取 締 役	長 田 泰 宏	35	○	(株)三重電子計算センター	総 務 部 人 事 課 長	道 明 裕 二
16		三 交 興 業 (株)	総 務 部 長	平 岡 祐 一	36	○	三重トヨタ自動車(株)	総 務 人 事 部 部 長 代 理	米 森 孝 明
17	○	三 交 不 動 産 (株)	取 締 役 総 務 人 事 部 長	田 坂 雄 司	37	○	御 木 本 製 薬 (株)	総 務 経 理 マネージャー	田 中 正 人
18		J A グループ三重	共 通 管 理 部 次 長	藤 田 昌 弘	38	○	(株)水谷運輸倉庫	取 締 役 管 理 部 長	坂 崎 修 二
19	○	昭和四日市石油(株)	労 務 課 長	吉 田 仁	39	○	(株)安 永	人 事 部 人 事 グループ長	山 本 正 仁
20	○	住 友 電 装 (株)	人 事 部 労 政 グループ長	川 瀬 雅 生	40	○	(株)山 口 商 会	代 表 取 締 役 社 長	山 口 久 彦
					41	○	メ デ イ カ ル セ ー フ ティ コ ー チ		柳 生 邦 雄

労務管理改善協力委員会 第2部会

No.	類	会 社 名	役 職 名	氏 名	No.	類	会 社 名	役 職 名	氏 名
1	○	(株)赤 福	労 務 課 長	鈴 木 宏	25	○	(株)トーエネック三重支店	総 務 部 長	小 倉 稔 彦
2	○	(株)イムテス	総 務 課 長	小 林 かよ子	26	○	鳥羽シーサイドホテル(株)	管 理 部 長	井 上 穂 石
3		井村屋グループ(株)	人 事 ・ 労 務 部 長 代 理	宮 路 元 美	27	○	社会保険労務士法人ナデック	代 表 社 員	小 岩 広 宣
4		〃	人 事 ・ 労 務 部 課 長 代 理	高 木 俊 雄	28		社会福祉法人名張育成会	人 事 主 任	高 山 昭 仁
5	○	社会保険労務士 岩本事務所	所 長	岩 本 克 彦	29	○	日本板硝子(株)四日市事業所	総 務 課 長	友 野 徹
6		(株)ぎゅーとら	教 育 採 用 担 当	坂 崎 愛	30		日本トランスシティ(株)	人 事 部 副 参 事	木 下 守
7		近畿大学高等専門学校	事 務 部 主 任	石 田 了 久	31		パイロットインキ(株)	人 事 総 務 部 主 務	古 川 充
8		近畿日本鉄道(株) 名古屋輸送統括部	運 輸 部 運 輸 課 主 査	古 谷 元 嗣	32		〃	庶 務 グループ	葛 島 仁 史
9		(株)近鉄ホテルシステムズ	運 営 管 理 部 総 務 課 長	村 口 幸 久	33		(株)パ ソ ビ ア	マ ネ ー ジ ャ ー	山 根 久 美
10		〃	運 営 管 理 部 総 務	西 飯 瑛 美	34		八 風 バ ス (株)	総 務 課 長	増 田 浩 士
11	○	クレハエラストマー(株)	人 事 労 政 グループ・ マ ネ ー ジ ャ ー	村 田 日 出 夫	35	○	富士電機(株)食品流通 事業本部三重工場	人 事 総 務 課 長	菊 谷 泰 久
12		(株)小林機械製作所	総 務 グループ	柳 川 崇	36	○	本田技研工業(株)鈴鹿製作所	総 務 プロックリーダー	大 塚 義 和
13	○	三 交 興 業 (株)	専 務 取 締 役	山 本 竹 司	37		〃	給 与 厚 生 グループリーダー	武 本 謙 治
14	○	(株)三交タクシー	総 務 部 長	田 島 誉 之	38	○	(株)松 阪 鉄 工 所	総 務 部 長	奥 田 浩 司
15	○	(株)三交ドライビングスクール	常 務 取 締 役	古 市 正 典	39		三重いすゞ自動車(株)	総 務 部 次 長	近 藤 保 善
16	○	J A グループ三重	役 員 室 長	三 林 智	40	○	(株)三 重 銀 行	人 事 部 副 部 長	伊 藤 徳 男
17	○	シンフォニアテクノロジー(株) 伊勢製作所	総 務 部 担 当 課 長	渡 辺 均	41	○	三 重 グ リ コ (株)	総 務 課 課 長	水 野 恵 介
18	○	(学)鈴鹿医療科学大学	総 務 課	村 山 朋	42	○	三 重 交 通 (株)	人 事 部 担 当 部 長	西 田 義 明
19		住 友 電 装 (株)	人 事 部 労 政 グループ	古 谷 健 一	43		〃	労 務 課 長	浦 野 克 雄
20	○	総合経営労務センター	所 長	田 中 克 己	44	○	三 重 交 通 商 事 (株)	取 締 役 総 務 部 長	笠 井 淳
21		大 東 自 動 車 (株)	管 理 部	小 熊 弘 一	45		三 重 信 用 金 庫	人 事 課 長	松 尾 佳 明
22		(株)中 勢 ゴ ム	営 業 室 課 長	平 井 克 宏	46		(株)三重電子計算センター	人 事 課 主 任	大 谷 卓
23	○	東海労務経営管理センター	所 長	松 田 貴	47		三重トヨタ自動車(株)	総 務 人 事 部 労 務 人 事 課	奥 山 裕 介
24	○	東海運輸建設(株)	常 務 取 締 役	門 井 良 仁	48		(株)水谷運輸倉庫	労 務 担 当	大 治 雅 嗣
					49	○	美 和 ロ ッ ク (株)	総 務 部 長 代 行	谷 口 肇
					50	○	横浜ゴム(株)三重工場	業 務 課 長	榛 葉 靖 典

労務管理改善協力委員会 9 月第 2 部会開催

9月18（火）プラザ洞津において、労務管理改善協力委員会第2部会を開催しました。当日は32名の参加があり、第2部会部会長の古市部会長（㈱三交ドライビングスクール常務取締役）の挨拶後、社会保険労務士法人ナデック 代表社員 小岩 広宣氏より「改正労働者派遣法・改正労働契約法に伴う対策について」と題して講演を頂きました。

今回は、10月1日より改正となる労働者派遣法、又、8月10日に既に一部改正となっている労働契約法について、今後企業が注意しなければならない注意点等詳細に説明して頂きました。講演後の質疑応答でも活発に質問があり非常に有意義な部会でありました。



挨拶する古市部会長



講演する小岩講師



部会風景

労管「県外視察会」開催ご案内

（浜岡原子力発電所・ホシザキ電機㈱・メガソーラーたけとよ）

～安全防災対策・再生可能エネルギー環境対策・女性が働きやすい職場見学～

現在、津波対策工事が行われている浜岡原子力発電所の見学、女性が働きやすい職場環境を整備し、ワーク・ライフ・バランス等に積極的に取り組まれ、業務用厨房機器では国内トップメーカーであるホシザキ電機㈱の見学、今後ますます注目される再生可能エネルギー（自然エネルギー）で中部地域最大の発電量を誇るメガソーラーたけとよの見学と盛りだくさんの内容となっております。是非ご参加頂きます様よろしく申し上げます。

- (1)日 時 平成24年12月4日(火)～5日(水) <1泊2日>
- (2)参加会費 1名につき 7,000円（1泊2日：宿泊・食事代含）
- (3)集合場所等 （12月4日）近鉄津駅西口 8：20集合 8：30出発
（12月5日）近鉄津駅西口着18：00
- (4)宿 泊 先 ホテルウエルシーズン浜名湖
- (5)視 察 地 （1日目）①浜岡原子力発電所
（発電所見学及び津波対策工事現場見学、安全防災対策並びにエネルギー対策）
（2日目）②ホシザキ電機㈱
（女性が働きやすい職場環境・ワーク・ライフ・バランスを積極的に取り組む企業見学）
③メガソーラーたけとよ 武豊火力発電所
（発電所見学及びメガソーラーたけとよ見学（再生可能エネルギー））

第5回女性懇話会開催

8月21(火)に懇話会メンバーの経営されるCafé「バリュースター」において、第5回の女性懇話会を開催しました。当日は16名の参加があり、当協会の岡本会長の挨拶後、(株)アサヒ外語学院 代表取締役社長 高木 暢子 氏より「グローバル社会を生き抜くために」～外国人労働組合奮闘記～と題して、会社設立から現在に至る経緯と、その後の外国人労働組合との奮闘と、当初は、どうしてよいか分からない為、当協会の前専務理事をはじめ職員の支援をして頂いたことを今でも恩義に感じている等のお話をして頂きました。その後、三重労働局雇用均等室長の和田 秀美 氏より「女性管理職の立場と役割」と題して講演を頂きました。その後昼食を取りながら談笑し交流を深めました。



岡本会長挨拶



女性懇話会風景

新メンバー紹介



(株)三重交通
総務課長
村田 陽子

女性懇話会では、各方面でご活躍されている皆様と様々な情報交換をさせていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



ジブラルタ生命保険(株)
ライフプランコンサルタント
萩野 洋子

まだまだ未熟で、自分から発信出来るような事は少ないと思いますが、皆様のお話や意見を伺えるこの会で、視野を広げ、勉強させて頂きたいと思っています。よろしくお願いします。



(株)アサヒ外語学院
代表取締役社長
高木 暢子

135ヶ国中 101位…世界経済フォーラムダボス会議2012版「男女格差報告」男女平等度合い日本の順位。頑張ろう日本女子!!



鳥羽シーサイドホテル(株)
取締役女将
田中 花恩里

皆様と交流させて頂き、自分磨きが出来ればと思っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

第48回三重労使会議報告

- I. 開催日時 2012年9月11日（火）10：00～12：30
- II. 開催場所 三重県勤労者福祉会館 地階（特別会議室）
- III. 参加者 （経協）経協会長、副会長、労管会長、副会長、労管部会長、事務局（13名）
（連合）会長、副会長、事務局（17名） 各側出席で30名
- IV. 開催内容
 1. 会長挨拶と要請書提出
連合三重 土森会長、三重県経営者協会 岡本会長 両会長より挨拶がありました。その後、連合三重側より経協に対し2013年度「政策・制度」実現に向けた要請書（案）が提出されました。
 2. 労使協働事業活動報告
 - ①三重労使雇用支援機構
横田専務理事（経協）より、県からの委託事業の「若手人材育成・定着支援事業」、「中高年齢者雇用支援事業」、「企業の働き方に向けたモデル事例検討業務」について活動報告が行われました。
 - ②婚活事業－「素敵な出会いの会」「ハピマリ」活動
土森会長より、「第1回交流セミナー」「第2回交流パーティー」「第3回日帰りバスツアー」「第4回料理婚活・リョウコン」の報告並びに、9月15日に開催される「第5回カヤック&パエリア 欲張り体験婚活」について説明並びに、今後の予定募集状況が報告されました。
 - ③労使紹介
労働側を代表して、自治労三重県本部 中央執行委員長 岡本 博 氏より自治労の活動報告があり、引き継ぎ、経営者側を代表して、中部電力(株)三重支店 人事課長 横井 智成 氏より「メリハリワークの推進について」報告が行われました。
 3. 「賃金不払い残業と過重労働による健康障害の根絶宣言」について
三重労使会議として確認が行われました。参加者より一部修正等の意見があり、事務局にて再度検討することとなりました。
 4. 特別講演会
「企業経営におけるワーク・ライフ・バランスの有用性」
講師：高田短期大学 准教授 杉浦 礼子 氏
冒頭、ワーク・ライフ・バランスの始まり、憲章等の説明後、各資料に基づく労働者の状況、少子化の数値説明があり、ワーク・ライフ・バランスがもたらす業績向上等の説明後、昨年度実施した事業所向けアンケート・従業員向けアンケートによる調査結果の発表後、最後に企業経営にもたらすメリットの説明がありました。
 5. 次回開催（幹事：経営者協会）
次回の開催は 2月上旬を予定。
 6. 昼食懇談会



挨拶する岡本会長



岡本会長に要請書を手渡す土森会長



三重労使会議風景

「再就職支援セミナー＆新分野チャレンジ交流会」の開催

中高年齢者（45歳以上）の雇用情勢は依然として厳しい状況の中、意欲と能力がある限り、年齢にかかわらず働くことができる機会を多くし、また新しい仕事などにチャレンジする人のための支援として開催。このセミナーは、三重労使雇用支援機構の中高年齢者雇用支援事業が主催となり開催致しております。各会場とも活発な質問があり、再就職を目指す中高年の方々に再就職のヒントになるセミナーでした。

■開催内容

No.	日時及び開催場所	プログラム
1	伊勢会場 7月12日（木） 13：30～16：20 伊勢市生涯学習センター いせトピア3階研修室 参加人数：52名	・第1部 中高年齢者の再就職のために (株)O-GOE 代表取締役 杉山 豊 氏 ・第2部 中高年齢者の再就職のために (株)R&Eコンサルタント 代表取締役 小林 吉光 氏 ・第3部 中高年齢者が活躍する業界 (株)損害保険ジャパン三重支店津支社 支社長 福谷 浩明 氏
2	津会場 9月5日（水） 13：30～16：20 サンワーク津1階研修室 参加人数：57名	・第1部 中高年齢者の再就職のために (株)O-GOE 代表取締役 杉山 豊 氏 ・第2部 中高年齢者の再就職のために (株)R&Eコンサルタント 代表取締役 小林 吉光 氏 ・第3部 中高年齢者が活躍する業界 (株)三交タクシー 総務部長 田島 誉之 氏



伊勢会場セミナー風景



津会場セミナー風景

「人事労務管理セミナー」の開催

若手従業員の人材育成において、特に企業側に意識していただきたいポイントとして、育成を担当する人のコミュニケーション能力向上の必要性、企業内における成長のきっかけ作りとなる取り組みなどについての内容と、公的年金支給開始年齢（老齢厚生年金の報酬比例部分）の65歳への引き上げが開始される平成25年度以降、無年金・無収入となる者が発生する可能性があることから、希望者全員が65歳まで働ける企業の普及促進のため、開催致しました。今回は、三重労使雇用支援機構の「若手人材育成事業」と当協会の「希望者全員65歳雇用確保達成事業」との合同での開催で多数の参加でした。

■開催内容

No.	日時及び開催場所	プログラム
1	四日市会場 7月24日（火） 13：30～16：00 四日市商工会議所 1階会議所ホール 参加人数：52名	・第1部 若手人材育成セミナー (株)O-GOE 代表取締役 杉山 豊 氏 ・第2部 希望者全員65歳雇用確保達成事業セミナー (株)百五経済研究所経営コンサルティング部 部長兼首席研究員 大地 勉 氏 ・第3部 助成金活用セミナー (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 三重高齢・障害者雇用支援センター センター長 横山 基 氏
2	伊勢会場 9月10日（月） 13：30～16：00 伊勢市生涯学習センター いせトピア3階研修室 参加人数：60名	・第1部 若手人材育成セミナー キャリアフェイス 代表 山口 友美 氏 ・第2部 希望者全員65歳雇用確保達成事業セミナー (株)百五経済研究所経営コンサルティング部 部長兼首席研究員 大地 勉 氏 ・第3部 助成金活用セミナー (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 三重高齢・障害者雇用支援センター センター長 横山 基 氏



四日市会場セミナー風景



伊勢会場セミナー風景

「留学生採用予定企業説明会」の開催

9月19日（水）プラザ洞津において、留学生採用予定企業説明会を開催致しました。今年度より当協会が、受託している「高度外国人材の日本企業就職促進プロジェクト」の事業として開催致しました。

留学生を採用したいと考えている企業、今後検討したいと考えている企業を対象とし、下記の内容で当日32名の参加者でした。

■開催内容

プログラム

- ・第1部 高度外国人材の日本企業就職促進プロジェクトについての概要説明
三重県経営者協会 専務理事 横田 正典
- ・第2部 県内各大学の留学生の状況・動向説明
四日市大学 経済学部准教授 留学生支援委員 岡 良浩 氏
三重大学 学務部 学生サービス課長 野々村 晴子 氏
鈴鹿国際大学 キャリアシニアアドバイザー 米島 久雄 氏
- ・第3部 外国人材（留学生）を活用・採用している企業の事例紹介
㈱アバンセコーポレーション 事業企画部 営業推進グループ長 西村 英継 氏
㈱中尾製作所 代表取締役社長 中尾 修也 氏
- ・第4部 新しい在留管理制度について
名古屋入国管理局 就労審査部門統括審査官 山本 英輝 氏
- ・第5部 質疑応答

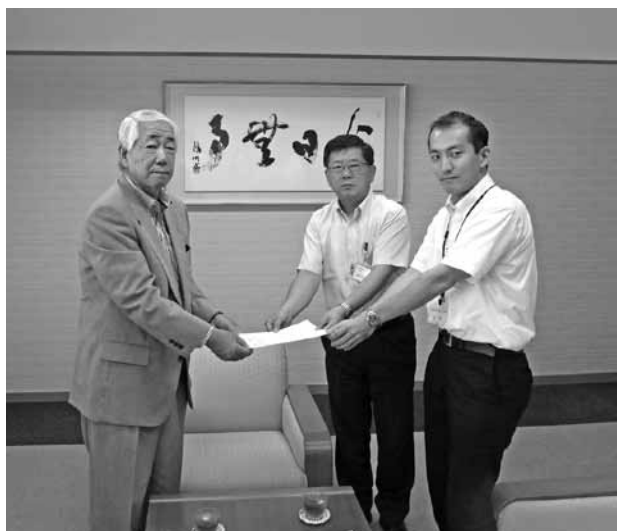


説明会風景

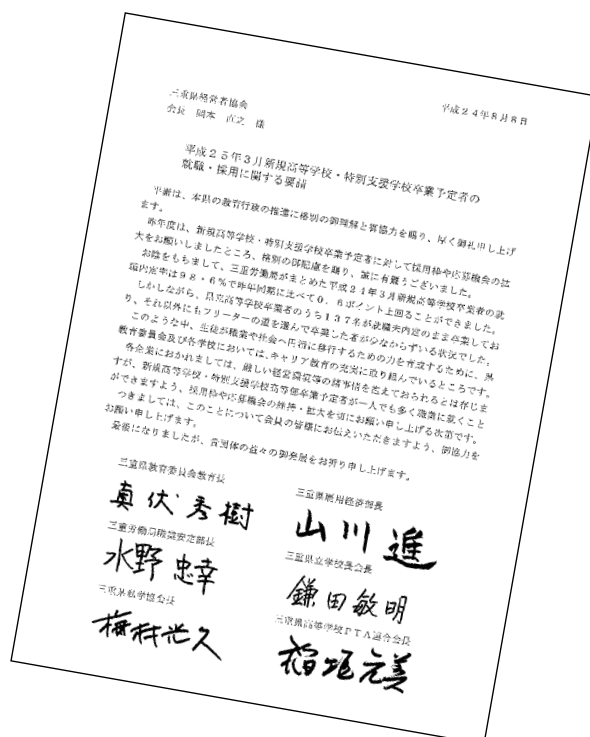
高校生の採用枠拡大を

～県教育委員会などが経済団体に要請～

去る8月8日（水）県教育委員会 真伏 秀樹教育長、三重労働局 水野 忠幸職業安定部長が、岡本会長へ「新規高等学校・特別支援学校卒業予定者の就職・採用希望の高校生らが地域の産業の担い手となれるように1人でも多くの採用をお願いしたい」などと書かれた要請文を手渡されました。



要請文を受け取る岡本会長（左）、真伏教育長（中央）、水野部長（右）



友 達



伊藤印刷(株)
代表取締役専務
伊藤 恵子 氏

ある日先輩から新聞の切り抜きをいただきました。そこに書いてある記事は、『午前二時の友』と書いてある見出しで、「健康で長生きがしたければ午前二時に電話してもよい友達を作りなさい」という文章で始まり、その言葉は癌の研究をしてみえるお医者さんからの忠告でした。内容は「なにかおもしろい」と感じた笑顔の瞬間は、良性細胞が一気にふえる。「困った」「大変だ」と悩んだり、苦しんでいるときは悪性細胞が増大する。苦しい時は言葉にして打ち明ける。これで気持ちが楽になり、良性細胞も増えてくる。

そこで「夜中の二時でも電話できる友達を」となる。非常識と知りつつ電話相談できる相手、親身になって聞いてくれる友を作れという教えでした。

さて、自分にそんな素晴らしい友達がいるかな？あの人もこの人もと自分で決めているが、先方はどうか？と思い今友達の大切さをひしひし感じて、心と心のふれあう豊かな人間関係が築いてゆけたらと思っています。

学生時代の友達、仕事関係の友達、いろんな会での出会う友達、特に会で出会う友達は、全員が商売の厳しさを熟知し、老いも若きもごく自然と共鳴できる仲間です。その中で自分自身女性経営者として明るくプラス思考で日々努力して進んでいき、友達との信頼の輪を大切に、成長していきたいと思っています。

又、学生時代の友達の中で一人大切な人がいます。生年月日も同じで、何を話しても大きな心で聞いてくれます。私が入院の時、何度も訪ねてくれ安心し

て話せる人です。こんな素敵な友達に出会えた事、ただただ感謝です。

そして先輩として大切な人が二人います。その先輩より指導してもらっている言葉があります。「人生に折り返し点、下り坂などない。いつも上を向いて前向きに!」と教えられます。そして午前二時に電話してきてもよいといってくれます。このような出会いに感謝し、本当に自分は幸せものです。尊敬する先輩からの、「人の心を癒し励まして生きる勇気を与えるのは友達!」と、この教え忘れずいきたいと思っております。

あっそうそう、素敵な友達がまたいました。この友達は、一生おつきあいしてくれそう。話をしても楽しいし、愚痴の言い合いが出来る人、このようにペンをとっていると私にもたくさんの友達がいてくれるのだと気づき、たくさんの財産があると思うと嬉しくなります。

又、会社にも素敵な女性がいてくれる。一生懸命仕事にと30年、20年と働いてくれ、頑張っている女性達。皆一人一人輝いている。長い間会社へ来てくれている大切な友達!大切にしよう。

我が社のモットー、“人の出逢いを大切に”をいつも忘れず、頑張っていきたいと思います。



Vol.12 近畿大学工業高等専門学校

「創立50周年、創造力あふれる実践的技術者を育成」

近畿大学工業高等専門学校は、近畿大学学園の建学の精神である「実学教育と人格の陶冶」を柱として、「人に愛され、信頼され、尊敬される新時代を担う技術者を育成」してきました。卒業生は7505名を数え、ものづくり技術教育を通じて、日本の発展に大きく貢献しています。

「近畿大学工業高等専門学校の沿革」

昭和37年4月、近畿大学工業高等専門学校（旧熊野工業高等専門学校）は、国務大臣で科学技術庁長官・経済企画庁長官として「高専制度制定」に関わられた世耕弘一近畿大学初代総長・理事長により、近畿大学の併設校として設置されました。平成12年に近畿大学工業高等専門学校へと校名変更を行い、3工学科から4コースへ改組、男女共学となりました。平成17年には4コースを統合した総合システム工学科と、専攻科「生産システム工学専攻」を設置しました。平成23年には名張市に移転して、大学本部と近鉄大阪線で直結し、地域での産官学共同研究や実践的技術教育を行う環境が整いました。

「知徳体、三位一体の教育」

創造力あふれる実践的技術者を育成するため、専門教育は勿論ですが、知徳体、三位一体の教育を堅持し、人格教育にも力を入れています。

・産業界第一線にいた先端技術者、大学関係者、特許取得者を教員に揃え、教育・研究・学生活動の活性化や国際化に対応し、実学教育による高度技術者育成の体制を整えています。ものづくり活動・技術教育で全国レベルに到達し、高専ロボコンをはじめ多くの受賞実績を上げています。

・最新の設備を導入し、単に知識を詰め込むだけの教育でなく、実験実習を通じて創意工夫ができる実践的な専門教育を行っています。

・博士教員やイギリス人教員の指導などにより、「数研グランプリ金賞」、近畿高専英語スピーチコンテスト・プレゼンテーションコンテスト上位入賞、弁論大会全国大会優秀賞を獲得しています。

・トップクラスのスポーツ実績を持つ体育指導者により、柔道、硬式野球、ソフトテニス、サッカー、陸上競技で全国レベル国際レベルの活躍選手を輩出しています。鬼屋敷選手の巨人軍ドラフト2位指名などの実績があります（高専学生へのドラフト指名は全国初）。

・平成17年、教育プログラムがJABEE（日本技術者教育認定機構）から認定されています。また同年、機関別認証評価により、大学評価・学位授与機構が定める高等専門学校評価基準を満たしていると認められています。

・教育寮を完備し、規則正しい集団生活で人間力を培っています。



お問い合わせ

近畿大学工業高等専門学校

〒518-0459 三重県名張市春日丘7番町-1 TEL 0595-41-0111(代) FAX 0595-62-1320

HP:<http://www.ktc.ac.jp/>

会員発HOTニュース

会員企業の最新HOTニュース(企業PR・店舗紹介・新商品・新サービス・新装オープン等)をお届けいたします。

■事業案内(サイバーウェイブジャパン)

クラウドサービスをお得なセットでコスト削減!

ビジネス・スイート

多機能グループウェア

高機能ウェブメール

ホームページ公開

deskNET'S Enterprise Mail Webホスティング



株式会社 サイバー ウェーブ ジャパン

〒517-0502 三重県志摩市阿児町神明字寺川原 764 番地 184
TEL: 0599-44-5700 FAX: 0599-44-5701 E-mail: sales@cwj.jp

災害対策
遠隔バックアップ
対応の安心サービス

全てセットで
1 アカウント 月額料金
500 円 (税別)

ほかにもクラウドサービス提供中!
ホームページをご覧ください!

ホームページ URL
<http://www.cwj.jp/>

■事業案内(三交興業)

●忍者の里をイメージした和風調の外観にリニューアルした
名阪上野ドライブインでは、地元の素材にこだわった
ジェラート、忍者焼、伊賀牛ボールや豆腐田楽の
実演販売を行っており、売店では忍者グッズもたくさん
取り揃えております。

名阪上野ドライブインが「忍者ドライブイン」
としてリニューアルオープン!



●名阪関ドライブインでは、
フードコートにて販売のB級グルメ
「亀山みそ焼きうどん」が大人気。
別館の関本陣では全室、
日本庭園を眺めながら
落ち着いて お食事を
楽しんでいただけます。



名阪上野ドライブイン
三重県伊賀市大内2017
TEL 0595-23-1414

名阪関ドライブイン
三重県亀山市関町萩原39
TEL 0595-96-1414

三交興業株式会社
TEL 0595-97-8555

■事業案内(第三銀行)

あ り が と う

100 周年

これからもみなさまとともに

第三銀行は
おかげさまで創立**100**周年!



WITH YOUR
SMILE

キラリと光るあなたの銀行

第三銀行

<http://www.daisanbank.co.jp> ☎ **0120-33-8654**

※ご応募はメール(info@miekeikyo.jp)で承ります。詳細はメールでお知らせします。(掲載は応募順)

三重県で働くすべての方へ。

意識したことありますか？

最低賃金

三重県のこれまでの最低賃金 717円

724円 時間額

[発効日] 平成24年9月30日 ※特定の産業には特定(産業別)最低賃金が定められています。

WEBで
チェック
しよう！



必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も。

ウェブで最低賃金がチェックできます。

最低賃金制度

検索

厚生労働省ホームページ

<http://www.mhlw.go.jp/>

最低賃金に関する特設サイト

<http://www.saiteichingin.info/>



最低賃金に関するお問い合わせは三重労働局または最寄りの労働基準監督署へ

厚生労働省

三重県労働委員会 個別労働関係紛争のあっせん制度のご案内 ～労使トラブルの解決をお手伝いします～

個別労働関係紛争のあっせんは、個々の労働者と会社との間で、労働条件などをめぐって紛争が発生し、自主的な解決が困難なとき、当事者からの申請に応じて、紛争を平和的に解決するための仲介・援助などを行う制度です。

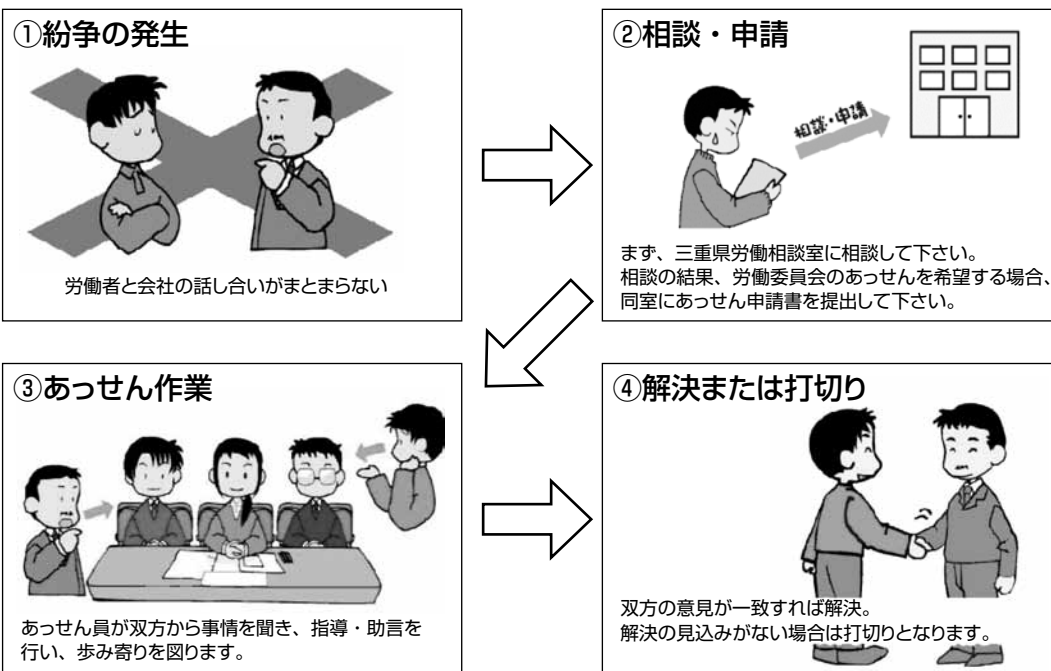
こんなときご利用ください（例示）

- ・ 経営上の理由から配置転換を命じた従業員が、理由もなく拒否している。
- ・ 勤務評定に基づき賞与を減額した従業員から増額を求められ、話し合いがつかない。
- ・ 整理解雇した従業員に何度も説明を行っているが理解してもらえず、裁判所に訴えられている。

労働委員会のあっせんの方法

あっせん員は、労働者側、使用者側及び第三者の性格を持つ公益側から各1名、計3名の経験豊富な委員が任命されます。あっせん員が公平・中立な立場で当事者双方の言い分を聞き、紛争解決のために適切な助言を行い、双方の歩み寄りを図ります。その結果、双方の意向が一致することで解決が図られます。

まず、三重県労働相談室にご相談ください。
あっせんは、三重県労働委員会が行います。



問い合わせ先 三重県労働委員会事務局 (〒514-0004 津市栄町1丁目954 三重県栄町庁舎5階) TEL 059-224-3033 FAX 059-224-3053
相談・申請窓口 三重県労働相談室 TEL 0120-31-1018

三重県委託事業

中高年齢者雇用支援事業

中高年齢者の再就職を
応援します

経 験

責任感

安定感

極めて厳しい雇用情勢の中、三重県委託事業として、
中高年齢者の雇用支援事業を開始させて
頂きました。

中高年齢者の豊富な経験と
企業が求める人材のマッチングを
コーディネーターが
させていただきます。

企業様のさらなる発展を
応援致します。

お問い合わせ先

三重労使雇用支援機構 中高年齢者雇用支援事業

〒514-0033 津市丸之内 9-18 津丸の内ビル 3 階（三重県経営者協会内）

TEL：059-223-0222 FAX：059-223-0224 担当：山際・山本

三重労働局委託事業

希望者全員65歳雇用確保達成事業

●平成25年4月1日から高年齢者雇用安定法が改正されます●

急速な高齢化の進行に対応し、高年齢者が少なくとも年金受給開始年齢までは意欲と能力に応じて働き続けられる環境の整備を目的として、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部が改正され、平成25年4月1日から新しくなります。今回の改正は、定年に達した人を引き続き雇用する「継続雇用制度」の対象者を労使協定で限定できる仕組みの廃止などを内容としています。

改正の
ポイント

- ①継続雇用制度の対象者を限定できる仕組みの廃止
- ②継続雇用制度の対象者を雇用する企業の範囲の拡大
- ③義務違反の企業に対する公表規定の導入
- ④高年齢者雇用確保措置の実施および運用に関する指針の策定

お問い合わせ先

三重県経営者協会 希望者全員65歳雇用確保達成事業

〒514-0033 津市丸之内 9-18 津丸の内ビル 3 階

TEL：059-223-0222 FAX：059-223-0224 担当：前村

〒516-0073 伊勢市吹上 1-11-31 伊勢志摩労福協会館 302 号室

TEL：0596-29-5766 FAX：0596-29-5766 担当：前田

三重労働局委託事業

「中小企業相談支援事業」 をご利用ください！

対応内容

給与制度・給与体系を見直したいのですが…

販路拡大の方法について知りたいのですが…

社内レイアウトを効率的なものに見直したいのですが…

もう少し生産効率を上げたいのですが…

就業規則をしっかりとしたものにしたいのですが…

その他
経営・労務に関すること…

無料

相談窓口は
こちら



中小企業津総合相談支援センター

〒514-8691 津市丸之内義正町4-1 森永三重ビル3F 三重県経営者協会内
TEL.059-226-0033

中小企業伊勢相談支援コーナー

〒516-0073 伊勢市吹上1-11-31 伊勢志摩労協会館3F302号 三重労使雇用支援機構内
TEL.0596-28-8200

中小企業四日市相談支援コーナー

〒510-8501 四日市市諏訪町2-5 四日市商工会議所3F
TEL.059-354-1213

中小企業尾鷲相談支援コーナー

〒519-3671 尾鷲市矢浜1-14-36 三重県尾鷲電気工業協同組合内
TEL.0597-22-3399

厚生労働省委託事業

高度外国人材・留学生の 日本企業就職促進プロジェクト

日本企業を取り巻く環境の変化、グローバル時代における外国人材の雇用の動向などを踏まえると、近い将来、どの産業・企業においても外国人材を必要とすることは確実な状況であります。当協会は、厚生労働省の委託事業として、「高度外国人材の日本企業就職促進プロジェクト」を受託致しました。今後、留学生の採用を考えておられる企業、大学、関連機関と協力をして事業を進めて参ります。

具体的な取り組み内容

- ① 地方協議会の開催
- ② 企業向け就職説明会の開催
- ③ 留学生向け就職説明会の開催
- ④ 合同企業説明会の開催
- ⑤ 留学生の就職促進に関する事業（インターンシップ・就職相談）

三重県経営者協会 高度外国人材の日本企業就職促進プロジェクト

〒514-0033 津市丸之内 9-18 津丸の内ビル 3階
TEL : 059-223-7771 FAX : 059-223-7771 担当: 岡野、矢島

れんらく・つうしん

年末調整実務セミナー

～平成24年 年末調整の事務処理について～

- (1)日 時 平成24年11月22日(木)
- (2)場 所 プラザ洞津 2階 明日香の間 津市新町1-6-28 (津新町駅下車 西へ徒歩3分) TEL 059-227-3291
- (3)受講料 会員会社 1人につき 8,000円 (テキスト代含む)
会員外会社 1人につき 16,000円 (テキスト代含む)
- (4)講 師 税理士 今井富久翁 氏、今井富久翁税理士事務所 所長、東海税理士会津支部会員

※今回は、来年より改正されます給与所得控除の改正、復興特別所得税等についても説明頂きます。

第8回「三重県『産・学』就職情報交流会」(1泊2日)

～ソーシャルネットワーク時代における就職活動～

学校・企業の就職・採用活動に不可欠であるスマートフォン・フェイスブック等に代表されるソーシャルネットワークについて考える必要があります。今回の交流会では『ソーシャルネットワーク時代における就職活動』を総合テーマに、学生・生徒の就職促進や若年層の雇用問題、職場定着問題等の対策など、企業の採用担当者と大学・短大・高専・高等学校の就職担当者が一同に会して、意見・情報交換の場として就職促進に繋げていただけるよう産・学共催の本交流会を企画致しました。

- (1)日 時 平成25年 2月19日(火)～2月20日(水)
- (2)会 場 鳥羽シーサイドホテル 鳥羽市安楽島町1084 TEL 0599-25-5151
- 平成25年 2月19日(火) (第1部) 基調講演・産学講演会 13:30～16:00 『シーサイドホール』
(第2部) 産学就職情報交流会 16:15～17:30 『シーサイドホール』
(第3部) 産学懇談会 18:30～20:30 『真珠の間』
- 2月20日(水) 産学グループディスカッション 9:30～11:30 『シーサイドホール』

※詳細は後日HP等で掲載致します。

3県経協会員様 特典のご案内

平成24年10月から

愛知・岐阜の経営者協会主催の講習会も
会員参加費で受講できるようになりました

平成24年10月から愛知、岐阜、三重の経営者協会が連携し、各経営者協会主催の講習会が会員参加費でご受講いただけるようになりました。この機会に是非、3県の経営者協会の講習会をご活用ください。

■対象講座 各経営者協会のホームページをご覧ください。

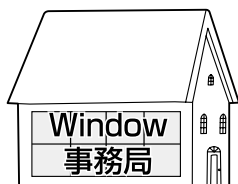
愛知県経営者協会 <http://www.aikeikyo.com/>

岐阜県経営者協会 <http://gifukeikyo.org/>

講座のお申込み、お問い合わせ、参加費のお支払いは、各講座の主催経営者協会へお願いいたします。

愛知・岐阜の講座にお申込みの際には、三重県経営者協会の会員であることを記載して下さい。

※一部、会員参加費で受講できない講習会があります。



新会員の紹介

株式会社 サイバーウェイブジャパン

事業内容 データセンター事業、インターネット
バックボーン事業、クラウド事業

代表者 代表取締役社長 大杉 昌弘

所在地 志摩市阿児町神明字寺川原 764 - 184

電話 0599-44-5700

FAX 0599-44-5701

ホームページ <http://www.cwj.jp/>



日本郵便株式会社 津中央郵便局

事業内容 運輸、郵便事業

代表者 局長 宮田 幸男

所在地 津市中央1-1

電話 059-228-2460

FAX 059-223-0264

ホームページ <http://www.post.japanpost.jp/index.html/>



株式会社 アバンセコーポレーション

事業内容 総合人材サービス事業、翻訳通信事業、
設計開発受託

代表者 代表取締役 林 隆春

所在地 愛知県一宮市中町1-8-26

電話 0586-43-4511

FAX 0586-43-3220

ホームページ <http://www.avance-corp.com/>



パイロットインキ株式会社 津工場

事業内容 筆記具の製造

代表者 取締役津工場長 飯田 幹雄

所在地 津市片田長壺町田 850 - 3

電話 059-237-3755

FAX 059-237-3766

ホームページ <http://www.pilot-toy.com/>



社会保険労務士法人ナデック

事業内容 社会保険労務士
 代表者 代表社員 小岩 広宣
 所在地 鈴鹿市白子町 2926
 電話 059-388-3608
 F A X 059-388-3616
 ホームページ <http://www.nudec.jp/>



近畿大学工業高等専門学校

事業内容 高等専門学校
 代表者 校長 神野 稔
 所在地 名張市春日丘7番町-1
 電話 0595-41-0111
 F A X 0595-62-1320
 ホームページ <http://www.ktc.ac.jp/>



三重ダイハツ販売株式会社

事業内容 自動車、販売、整備、保険、レンタカー
 代表者 代表取締役会長 長嶋 宣光
 所在地 松阪市船江町 689-1
 電話 0598-51-6266
 F A X 0598-51-3290
 ホームページ <http://www.dd.daihatsu.co.jp/mie-D/>



コカ・コーラセントラルジャパン株式会社津支店

事業内容 清涼飲料水の製造・加工および販売等
 代表者 津支店長 廣 英二
 所在地 津市高茶屋小森上野町 1300-1
 電話 059-234-2418
 F A X 059-234-0839
 ホームページ <http://www.cccj.co.jp/>



ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材送出企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業
- 65歳までの継続雇用が自社内では困難で、該当者の再就職を支援したい企業

産業雇用安定センター 三重事務所

送出情報の
収集・登録

受入情報の
提供

受入情報の
収集・登録

送出情報の
提供

企業どうしの話し合い・面接

出向・移籍の成立

無料

人材受入企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

(財)産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌
2012.7.9

事業名	とき	ところ
中高年再就職支援セミナー	7/12(木)	いせトピア
人事労務管理セミナー	7/24(火)	四日市商工会議所
第5回女性懇話会	8/21(火)	Café「バリュースター」
第18・19期労管総会	8/28(火)	プラザ洞津
中高年再就職支援セミナー	9/5(水)	サンワーク津
第11回三重経協海外経済・労働視察 説明会	9/10(月)	プラザ洞津
人事労務管理セミナー	9/10(月)	いせトピア
第48回三重労使会議	9/11(火)	三重県勤労者福祉会館
労管第2部会	9/18(火)	プラザ洞津
留学生採用予定企業説明会	9/19(水)	プラザ洞津



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

ホームページ

<http://miekeikyo.jp>

E-mail

info@miekeikyo.jp

平成24年11月9日 発行
発行人／三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F